

教育計画

(1) 学校教育目標

「自然を愛し、豊かな心で、自ら考え、判断して行動できる児童の育成」

- ① 生命を大切にし、自他を思いやる心を持ち、協力して生活を向上させようとする態度や心情を育てる。
(みんななかよく、思いやりのある子)
- ② 自分の課題を見つけ、よく考え、正しく判断し、創造的に解決しようとする、主体的な態度を育てる。
(すすんで学び、よく考え、行動する子)
- ③ 自立や自製の心、強い意志と実践力を持ち、自らすすんで健康な体力づくりに務める能力や態度を育てる。
(心も体もたくましく、最後までやりとげる子)

(2) 学校経営の基本方針

「生きる力」を育むための創意・工夫を生かした教育活動の展開による豊かで調和のある児童の育成

① <信頼される学校>

- 確かな学力、豊かな心の育成
- いじめ不登校を生まない学校
- 安全・安心な学校
- 教職員と児童の心のふれ合い

② <美しい学校>

- 自然環境を大切にする学校
- 花いっぱいの学校
- すみずみまできれいな学校
- 美しい言葉のある学校

③ <元気な学校>

- 明るいあいさつ・元気な返事
- 活発な『人とのふれ合い』
- 感動ある学校行事
- 心豊かな校歌の歌唱（母校愛）

④ <「協働」による学校>

- あたたかなコミュニケーション
- 笑顔の協力
- 情報の共有化
- 報・連・相の徹底による信頼

(3) 本年度の努力点

① 確かな学力の定着と魅力ある教育活動の展開

個々の児童の興味・関心を的確に把握し、個性や能力に応じた指導の充実を図ると共に、問題解決活動の重視、指導内容の精選、教材や指導方法の工夫等を図り、基礎学力の充実に努める。

- ア. 基礎的な学力（読み・書き・計算）の定着（朝学習、補習、読み聞かせボランティアの実施）
- イ. TT、少人数指導の工夫や個の状況を判断した個別指導の充実（算数、国語等）
- ウ. 地域教材（環境、文化、歴史、産業等）の開発（「総合的な学習の時間」等を通して）
- エ. 体験的な活動の充実（社会参加、育てる活動、ものづくり、見学や調査等の重視）
- オ. 表現活動の充実（「群読発表会」、クラスや児童会活動などにおける表現活動の充実）
- カ. 他校との交流（相模女子大学小学部、南下浦小など）

② 心の教育の充実

全教育活動を通して、「生命を尊重する心」、「自他を思いやる心」、「自立・自製の心」等の育成により他者尊重や自尊意識の高揚に努める。

- ア. 学級経営の充実
- イ. 道徳の時間の充実
- ウ. 学校文化の創造（読書活動や全校群読発表会、クラブ活動等を通して）
- エ. 潤いのある学校環境づくり（栽培活動、飼育活動、校地内外の清掃活動等を通して）

オ. 「剣小っ子グループ」(異年齢集団)による多彩な活動(全校遠足、カレー集会、みんなで遊ぶ集会、ガードクリーンデー等の実施)

③ 保護者や地域との連携

「開かれた学校づくり」を目指し、保護者や地域と協働して、学校教育目標の具現化を図るとともに、学校が地域のコミュニティーになるようにも連携を図る。

ア. 保護者会の活性化

イ. 地域教育資源の活用

ウ. P T Aや地域の活動への積極的な参加

エ. 学校評議員会の開催

オ. 学校関係者評価委員会の具申による学校改善の実施